

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 洞北 中学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、2年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

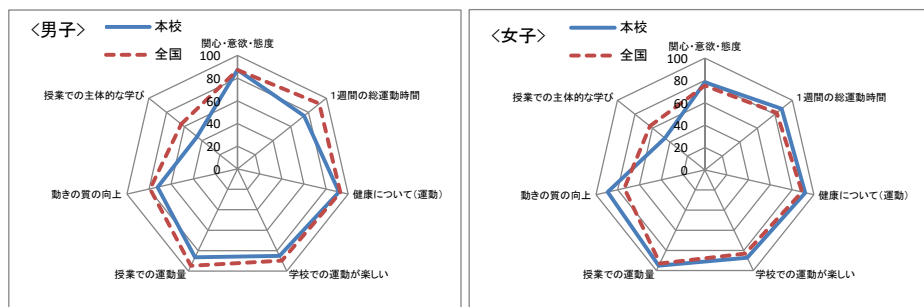
2. 本市における調査内容

(1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

・今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、感染対策を行いながらの実施となった。
・調査結果から見ると、運動や健康に関する意識は全体的に定着している。一週間当たりの総運動時間では、全国平均よりやや低下しており、授業以外で運動をする機会が減少している。この現状を踏まえ、授業での運動量の確保や昼休みのボールの貸し出しを行い、運動時間の確保を重点的に行った。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で)

・全学年で、準備運動で補強運動を行ったり、単元によって必要なウォーミングアップを取り入れたりすることで、基礎体力の向上に努めた。また、課題解決のためのアドバイスを多く取り入れた。今後は、ICTを効果的に活用し、主体的に取り組む生徒を増やすための取り組みを実施する。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

・全校で、昼休みのボールの貸し出しを行い、運動時間の確保を行った。